

決裁
二月九日

大正
二年
二月十二日

淨寫

校合

登録

発附

明治十八年二月二日

主船局長

赤松

主査

卿 輔

總務局長

主査

肥田

別紙鎮守府伺造昭所條例疑義ノ件ハ
左按ノ通由指合相成可然哉高仰ノ高裁
候也

案

伺ノ趣左ノ通相心得ヘシ

第一項

第一第三第四第五伺ノ通

二百七

母庫 官

文脈

0923

第二 追テ造修艦船規則改正ノ上何分ノ

義相違スヘシ

第二項第三項第四項

同ノ通

第五項

第一 艦船機装ハ船具ノ取附ケ方ヲ總稱

スル義ト心得ヘシ

第二

艦船機装外ノ庫々造船ニ屬スル
造修艦船規則追テ何分ノ義

造修艦船規則追テ何分ノ義

十八年二月九日

0925

0924

海軍省

第二 追テ造修艦船規則改正ノ上何分ノ

義相違スヘシ

第二項 第三項 第四項

伺ノ通

第五項

第一 艦船機装ハ船具ノ取附ケ方ヲ總稱

スル義トシ得ヘシ

第二 舊艦船規則ノ義相違スヘシ

舊艦船規則

造修艦船規則ノ義相違スヘシ

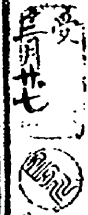
十八年二月九日

0925 0924

總務局



東 第 九 百 九 十 九 号



造 出 計 條 子 中 概 義 以 下 の 如 記
 本 書 の 趣 旨 は 主 に 皇 朝 創 設 時 代
 の 経 済 情 況 を 詳 述 し 皇 朝 創 設
 時 代 の 経 済 情 況 を 詳 述 し 皇 朝
 創 設 時 代 の 経 済 情 況 を 詳 述 し
 皇 朝 創 設 時 代 の 経 済 情 況 を
 詳 述 し 皇 朝 創 設 時 代 の 経 済
 情 況 を 詳 述 し 皇 朝 創 設 時 代
 の 経 済 情 況 を 詳 述 し 皇 朝 創
 設 時 代 の 経 済 情 況 を 詳 述 し

あまの川村純三殿
 御
 座
 中
 御
 用
 印

普 第 三 七 三 五 號

三 百 七

長 月 廿 七

0926

									女
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

0927

規第二百六号

海軍造船所條例中疑義之伺

第四條 検査部云々

右の機装向、検査に關せり義心得可然哉

又是迄新艦ヲ製造スル時ニ主船局ニ於テ經畫、
上其圖面仕様書ヲ海軍卿ニ呈テ而シテ海軍
卿ヨリ造船所、製造、命アル時、同局負時、派出
シテ細圖、調製并其工事ヲ検査スルハ成規有
之然レ、今般條例ヲ發布、上ノ圖面仕様書ガ所

下付アリト上ハ主船局、検査ヲ經ス後ニ当所検査部ニ於テ検査ヲ負擔候義ニ可有之哉

又艦船改造修理ニ際シ從前ハ修理ノ模様ニ密リ至船局ヨリ検査負ヲ派出シ詠負、方案ニ拠リ修理取計案候列爾後、然テ當所検査部ニ於テ方案取調シ義ニ可有之哉

又材料需用物品諸達築土工水利、検査ハ有之、則チ材料物品ノ買辦賣却ヨリ其物質需用ニ適否及ヒ價格、當所ト重量、掛枚及達築土工水利、便否及ヒ其費用、検査ニモ関スル義ト心得可然哉

又工場監督ト云ハ工業ハ勿論工場長以下ノ能否勤
怠ヲモ監督スル義ト心得可然哉果シテ然ラハ庶
務課所管ノ定人足等勤怠迄モ監督スル義
條哉

第五條第六條

新製改造修理云々

右検査部其外ヨリ送來シ方案ニ随ヒ造船機械
兩課ノ實業ニ着手スル迄ノ義ト心得可然哉

又海軍部内外ニ拘ハラズ新造修理ノ概算ハ従前
通り總テ造船機械兩課ニ取調ル義ト心得可

0930

然歟

又海軍部外ノ新造修理ニシテ註文者ヨリ圖面及
ヒ仕様書ヲ差出サレバ總テ検査部ニテ取調レ
義ト心得可然歟

第八條

主藏課ニ云

右材料物品ノ貯藏出納ヲ知ス途ニ止リ之ニ附スル其

代價ノ計算ニ主計部ニ屬スル義ト心得可然歟

第十九條

水路嚮導者云々入港繫泊ノ節助カ云々

0931

右、是迄造船課船具掛ノ管掌ノ所ニ付該掛
雨後知港事ニ屬スル義ト心得可然哉

第廿二條 艦船職装ノ事云々

右職装ノ所々ノ廣迄ヲ指シテ云々義ニ可有三哉

又右職装部區限相立タレ上ハ其職装外ノ廣々ハ
何レノ肩搭ニ屬スル義ト心得可然哉

今度由達之造船所條例中前文ニ座ニ判然不仕テハ
處務之順次相立兼差兩條ノ旨至急何分之内指揮

三頁五

0933

0932



兵部付
可然表

八可有之表

表外ノ
表

判照不仕
分之内
指揮

0933

0932

兵部付
可然表

仰度且十二年一月丙第、辨以達、造修艦船規則、該
條例、相應之サレ、及不敷候處、如何取扱可然哉
此段併、兩指揮、ヲ奉仰候也

横濱支隊海軍造船所長心得

十七年十二月廿日

海軍中佐坪井航三

横濱鎮守府長官海軍中將中野田君之助殿

0934

冬之照

造船所條例

第四條 検査部ハ新製改造若クハ修理艦

船機械及材料需用物品諸建築土工水利ノ

検査又ハ艦船機械修理ノ方案民ニ各工場監督

ノ事ヲ掌理ス

第五條 造船課ハ艦船及其属具ノ新製改造

修理等ノ事ヲ掌理ス

第六條 機械課ハ汽機汽罐及々其属具ノ新

製改造修理等ノ事ヲ掌理ス

第七條 主藏課ハ材料其他需用物品ノ貯藏保

存配賦出納等ノ事ヲ掌理ス

第十九條 知港事ハ出入港艦船ヨリ水路嚮道者

三頁

母 五 八 日

0935

海軍省

ヲ請ボスル片ハ之ヲ派出し又其艦船入港若クハ
繫泊等ノ際助カヲ請フ片ハ之ニ應ス可シ

第二十二條 知港事ハ艦船機装ノ事ヲ掌ル可シ

0936

参照

造修艦船規則

第三條

一海軍卿ハ成圖ト目錄書ヲ造艦所ニ下附ス
同所ニ於テハ入費概算書ト模型トヲ製表シ上
呈スヘシ而シテ其概算書等ヲ主艦局ニ調査セシ
メタル後造艦所ニ余シテ製表造ヲナサシメノ製表造
中時々検査員ヲ派出シ該工事ノ當否ヲ並
視セシムルコトアルヘシ

第六條

一修復艦船ノ名號ヲ付スヘキ者ト認ムル中ハ造
艦所長ト其所轄長連署ノ上海軍卿工上申

0937

海軍
ス可レ海軍卿ハ必ス検査官ヲ派出セシム其修
復ヶ所ヲ點檢シ之ヲ決定スルモトス

0938

善持三月廿三日

東第二八九号

東部武官の控申等、式以テ先取付條
子控申義、件、何由有テ未リ何
お持申も、如ク申上ル所、其
の分、其の如ク申上ル所、其
に、其の如ク申上ル所、其
の如ク申上ル所、其

中軍同様に取付申上ル所

古本総務局長殿

0940 0939

三頁

母三三

